

## 達磨の経済考

高野山真言宗慈明院名誉住職

吉住 明海

『福祉』という言葉を、日常的に使っているが、本来の意味は何であろうか？  
 福と社、どちらも幸せという事であるが、『福』とは、人からしてもらえる幸せ、  
 それぞれの人生、波瀾万丈の人から、コソコソと積み重ねた人と様々であろうが、  
 ただの自慢話に終始せずに、結論的に『してあげた事してもらつた事』  
 『比べたら、人にしてもらつた事が多かった』

見返りや、成果、効果を求めないのが必要であろう。  
 「人の為・世の為」などと言っているのは、福祉ではない、人の為と書いて『偽り』に  
 なるのが、言い得ている。  
 『小さな親切、大きな迷惑』 相手の心や立場、意思を考えないと、とても感謝の心にはならないはずだ・・・・・。

社を考えると、やはり自立できてる、満足感があるものだと思ふ。

人間としてのプライドや尊厳は、自立によって保持されるもの、何とかして、自力で出来

ないものかと、工夫努力してこそ達成感という満足が、幸せにしててくれる。

最初から、あきらめて投げ出したら、人生は闇である。足りないとこ、どうしても無理な事に、そっと手を差し伸べる優しさが、感謝という悦びになる。

高齢者に座席を譲った人が居た。  
 「すみません、ありがとうございます」と、老女が礼を言うと、  
 「なあもサ・・・この青年は北国人か。  
 温かく優しげな方言の響きが、地下鉄の車両に広がった・・・・。



商品紹介

## おなかいきいき健康法 ベーシックセット

「元気の元は胃腸から」、おなかの健康は病気予防の原点です。  
 「おなかいきいき健康法」のベーシックセットで、ストレスに負けないからだを作りましょう。

A セット  
 アルファルファ加工食品  
 ミネラルバランス食品  
 ミネラル・胃腸元気たっぷり  
**元祖元素**

合計12,600円  
 (本体12,000円)

なあもサ・・・いえどういたしまして？



- ガンと分かつたら交感神経緊張状態から速やかに脱出しなければなりません。
- 本人がどの程度仕事をセーブすれば楽になるか、自分の体に尋ね心の緊張に歯止めをかけることです。あせらずゆっくりと休養してください。
- ガンになるのは
- 顆粒球の增多→活性酸素の大
- 血流障害→老廃物、発ガン物質の停滞。
- リンパ球の減少→免疫力の低下。
- 排泄、分泌能力の低下→NK細胞の働きが落ちガン細胞の増殖を許してしまう等です。

ガンと分かつたら交感神経緊張状態から速やかに脱出しなければなりません。本人がどの程度仕事をセーブすれば楽になるか、自分の体に尋ね心の緊張に歯止めをかけることです。あせらずゆっくりと休養してください。

ガンになるのは

ガンと分かつたら交感神経緊張状態から速やかに脱出しなければなりません。本人がどの程度仕事をセーブすれば楽になるか、自分の体に尋ね心の緊張に歯止めをかけることです。あせらずゆっくりと休養してください。

第四章 ガンとわかつたら  
生活を見直す

安保 徹 著マキノ出版

## 長寿雑学

155



満まん堂学術顧問  
佐々木 俊雄氏



ます。誤って解熱剤を使つて熱を下げたり、免疫力を下げたりすると、ガン細胞は転移先でぬくぬくと生き延びてしまうのです。

重労働と栄養不足を強いられて、昔と異なり副交感神経優位の現代、ガンは生活習慣を改めれば自然退縮して当たり前、それが現代のガンです。

ガンになつたのはその人が相当の治療を選ぶことでガンの進行は止まり治癒へと導くことが出来ます。明日にどうなると言うことはあります。

告知された悲觀せず、心を落ち着け緊張をほぐし、自分が納得の出来る治療を検討してから治療方針を決めましょう。

ガンの治療で最も延命率が低いのが抗ガン剤の投与を受けた人たちです。告知された悲觀せず、心を落ち着け緊張をほぐし、自分が納得の出来る治療を検討してから治療方針を決めましょう。

医師の説明に納得がいかないときは他の医師にセカンドオピニオンを聞くことも大切です。担当医の知り合いや、推薦は避けることです。

代替医療の一つは針治療や漢方薬治療等の東洋医学があります。温泉療法、ヨガ、アロマセラピー、太極拳、氣功など自分の体が楽になると実感できるものがあります。また、その影響で組織周辺に炎症が生じ発熱するのです。

ガン細胞は熱に弱い性質があり、転移が起こるとき発熱します。これはリンパ球がガン細胞を破壊するタンパク質を使ってガンと戦つています。その影響で組織周辺に炎症が生じ発熱するのです。

転移時の発熱は人間の体に備わった天然の温熱療法なのです。

やがてリンパ球に打ち負かされ原発巣から散らばつて他の組織に逃げ出していく、これが転移なのです、リンパ球は追い詰めて撃退してしまい

特にきのこ類や海藻類など食物繊維の多いものをこまめに摂る事です。満遍なくいろいろな食品を摂取みると良いでしょう。

温泉療法、ヨガ、アロマセラピー、太極拳、氣功など自分の体が楽になると実感できるものがあります。また、その影響で組織周辺に炎症が生じ発熱するのです。

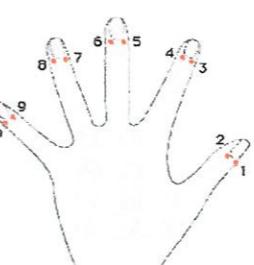
ガン細胞は熱に弱い性質があり、転移が起こるとき発熱します。これはリンパ球がガン細胞を破壊するタンパク質を使ってガンと戦つています。その影響で組織周辺に炎症が生じ発熱するのです。

転移時の発熱は人間の体に備わった天然の温熱療法なのです。

やがてリンパ球に打ち負かされ原発巣から散らばつて他の組織に逃げ出していく、これが転移なのです、リンパ球は追い詰めて撃退してしまい

湯にのんびりつかりましょう。入浴後は水分を十分に補給しましょう。笑いは最高の副交感神経優位の世界です。笑いを誘うものをどんどん見ましょう。

爪揉みこ場所  
 薬指の刺激は交感神経を高めますので、原則として避けましょう。



\*爪もみの効果  
 自律神経のバランスが整う  
 免疫力が高まる  
 血流が良くなる

\*爪もみの方法

1. 手の爪の生え際にある10ヵ所の点を少し痛い位の強さで10秒ずつ押して刺激します。とくに痛みを感じるところは、20秒くらいに伸ばしても構いません。1日2~3回を目安に繰り返してください。
2. 足の爪の生え際にある10ヵ所の点を少しこのうと効果的です。
3. 爪でもんでもいいのですが、爪楊枝を1~3本一緒にできません。

爪揉は手軽に副交感神経刺激が出来る家庭療法としてお勧めです。親指は呼吸器、人差し指は消化器、小指は循環器の働きを高めます。

